

空き家に緊急代執行

鈴鹿で県内初 持ち主撤去応ぜず

鈴鹿市小岐須町で空き家の外壁が県道にはみだし、通行を妨げるだけでなく非常に危険な状態だとして、市は17日、空き家対策特別措置法にもとづき持ち主に代わって緊急の撤去作業を始めた。空き家に対する緊急の代執行は県内で初めてという。



持ち主に代わって市が代執行で撤去する空き家。鈴鹿市小岐須町

この道は、市のコミュニティバスが通ったり中学生の通学路になっていたりするなど地元の幹

は2008年、木造平屋建て住宅の持ち主が転居し空き家になっていることを確認。やがて建物が崩れるなど危険な状態となったため、17年に特定空き家に認定し、持ち主に対応を指導勧告してきたという。

同法が23年に改正され、代執行までのプロセスが簡略化されたため市はただちに代執行に踏み込んだ。

撤去費用は220万円程度になる見込みで、市は持ち主に請求する。今月中に撤去は完了する予定だ。

稲森伊賀市長 忍者姿で登場
小学校で特別授業
毎年2月を「忍者市月間」としている伊賀市の稲森稔尚市長が17日、同市西高倉の市立上野北小学校で出前授業をし、6年生約40人に「伊賀忍者

「難民支援 まず大切なのは関心持つこと」

国連機関職員 四日市で講演

戦争や紛争、迫害により故郷を追われた難民について知り、どんな支援ができるのかを学ぶ講演会が16日、四日市市であった。

「多文化共生のまちづくり」で世界と日本の難民について〜で講師を務めたのは、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐日事務所（UNHCR）駐日事務所（UNHCR）の宮澤哲さん。東ティモールなどで難民の保護に



宮澤哲さん

あつた経験がある。UNHCR駐日事務所は、難民が日本社会にとけ込むための環境づくりや日本語教育

5月時点で世界の難民の数は1億2千万人と、日本の人口に匹敵していること、戦争や紛争が起きているアフガニスタンやシリア、ベネズエラ、ウクライナなどからの難民を、トルコやイラン、コロンビアといった地続きの周辺諸国が受け入

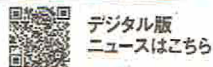
宮澤さんは「難民支援で一番大切なのは、まずは関心を持つこと。難民のことを知り、情報を発信する機会に参加することから始めることができる」と話していた。

（鈴木裕）

れている現状を紹介した。また、難民は、人権や宗教、政治的な意見を理由に迫害を受ける恐れがある人たちが、戦争や紛争で故郷に住むことができなくなつた人たちであり、「難民になることを選んだ人は一人もいない」と指摘した。

三重

東海



デジタル版
ニュースはこちら

津総局
〒514-0032
津市中央9-2
TEL 059-228-4141
FAX 059-224-4817
mie.opi@asahi.com
県内取材網
四日市支局/伊勢支局
/伊賀支局

購読・配達のご用は
0120-33-0843(7~21時)
紙面へのご質問・ご意見は
0570-05-7616
広告のご用は
059-351-1171

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時	
50	四日市
40	伊賀上野
40	津
40	鳥羽

四日市	津
伊賀上野	鳥羽
湿度 40%	波 0.5m
最高 6度	最低 -1度
四日市	津
伊賀上野	鳥羽
最高 5度	最低 -1度
最高 7度	最低 1度
最高 5度	最低 1度

四日市	津
伊賀上野	鳥羽
湿度 50%	波 0.5m

2月19日 (旧1月22日)	
日出	6.35
日入	17.41
月出	9.34
月齢	20.6

診療科目

内科・外科・胃腸内科

きょうの花情報

名市中西北

【津市】
一志町大
久居西鷹

おく

解説。
報を集
こと。
生き延